



浜松市の下水道台帳のGISデータを基に、浜松市地域防災計画および新たな大規模地震の被害想定データをGISベースで整理し、その時点に対応した被害想定をもとめ、効果的な下水道BCP計画につながる基礎資料の整理手法について提案するものである。

下水道BCP 策定におけるGISの効果的な活用

【S-3-1-2】
 7/22 13:20~13:35
 第6会場(708号室)

下水道BCPは、下水道の整備状況や地域の形態の変化、および想定地震動の見直し等に適宜対応しながら、効果的かつ実践的に計画を策定する必要がある。今回の発表は、

横浜市における下水道施設の長期再整備見直し~システム構築編~

【S-1-2-4】
 7/24 16:15~16:30
 第4会場(608号室)

的かつ長期的な視点から、事業見込み額の平準化やリスク評価機能等を有する長期再整備見直しのシミュレーションシステムを構築し、想定する複数のシナリオによる計画の中から最適な長期再整備見直しを選択する仕組みを整備した。

人口減少・料金減収が予想される中、横浜市が保有する膨大な下水道施設を維持し、下水道事業を持続していくためには、効果的な再整備投資が必要となる。そこで、俯瞰

